

令和8年度

福島県立医科大学大学院

医学研究科医科学専攻（修士課程）

8月募集

入学試験問題

**【注意事項】**

※ 解答はすべて別添解答用紙に記入してください。

※ 解答用紙には必ず受験番号を記入してください。

令和 8 年度 福島県立医科大学大学院  
医学研究科医科学専攻（修士課程） 8 月募集  
入学試験問題

次の 2 題（問題 I ・問題 II）のうち 1 題を選択して答えなさい。

問題 I

2019 年より施行されている「働き方改革関連法案」の柱である「労働時間法制の見直しについて」では下記の 8 項目について具体的な取り組みが示されている。

1. 残業時間の上限規制
2. 「勤務時間インターバル」制度の導入促進
3. 年 5 日間年次有給休暇の取得を企業に義務付け
4. 月 60 時間超の残業の、割増賃金率引上げ
5. 労働時間の客観的な把握を企業に義務付け
6. 「フレックスタイム制」の拡充
7. 「高度プロフェッショナル制度」を創設
8. 産業医・産業保健機能の強化

上記 8 項目のうち、3 項目を選択し、取り組み内容を具体的に記述したうえで、改革のねらい、効果について考察せよ。

## 問題Ⅱ

2020年の体操の国際大会において、大会前の日本人選手団の合宿中に新型コロナウイルスのPCR検査を選手に実施したところ、日本人選手の一人がPCR検査陽性と判定された。陽性となった選手と接触のあった選手を直ちに個室隔離とし、日本人選手団の大会参加中止が検討された。しかし、当該選手は無症状であり、体温も36度3分前後で安定していた。その後の検討により、PCR陽性は偽陽性であったと判断され、無事大会出場となった。

上記の事例に関連し以下の問いに答えよ。

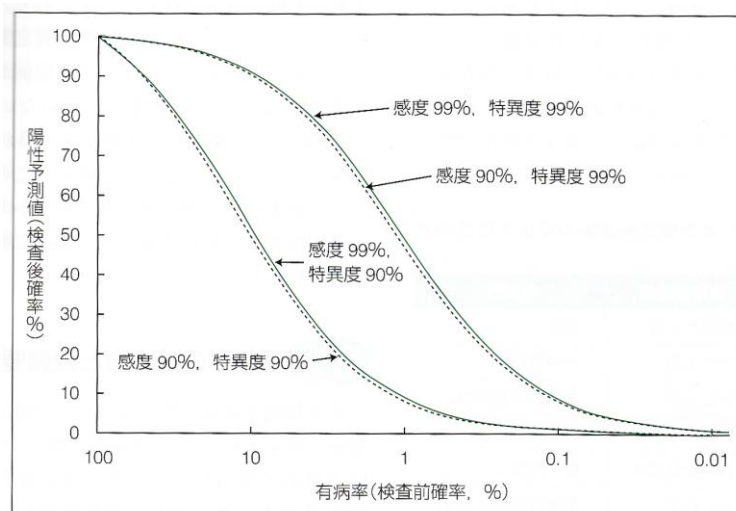
問1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の有病率が0.5%の集団に対し、感度80%、特異度98%のPCR検査を実施した場合、PCR検査陽性者におけるCOVID-19患者の割合(%)を以下の表を用いて計算せよ。

		COVID-19		計
		あり	なし	
PCR検査	陽性			
	陰性			
計				10,000

注：感度＝疾患ありの集団における検査陽性の割合

特異度＝疾患なしの集団における検査陰性の割合

問2 下図を参考とし、上記検査の偽陽性率を下げるのに有効な方法を2つ上げて説明せよ。



問3 上記事例において偽陽性と判断するのに有効と考えられる対応策を説明せよ。